

## 編集 後記

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は公衆衛生活動に大きな影響を与えました。第69巻11号には、COVID-19関連の論文が2本掲載されました。そのうち1本は第1回緊急事態宣言前後の生活支援コーディネーターの業務をとりあげた公衆衛生活動報告です。緊急事態宣言下では気になる高齢者などへの訪問や声かけがほぼ実施されなくなりました。活動再開には行政等からの指示が有効であることを示しています。もう1本はCOVID-19の流行によってがん医療の受療状況に変化があったかどうかを調べた論文です。医療機関の方針による変更が多く、通常医療への影響が明らかになっていません。

その他に原著2本、資料1本が掲載されました。原著の1本は、運動を熱心に行っていないが1日30分以上の歩行をしている高齢者がいることに着目し、運動にあまり関心がない高齢者に歩行を促すアプローチを検討した発想豊かな研究です。もう1本の原著は、他者に援助を求めないことが子ども時代に両親に援助を求めた経験と関連しているのかを検討した論文です。男女で異なる結果が出ており興味深いです。資料は、中高生のメディア利用時間と主観的健康感の関連を検討した論文です。3時間以上のメディア利用では主観的健康感不良の割合が高くなっていました。

COVID-19の流行によって人々の生活様式やコミュニケーションなど幅広い変化が起きています。公衆衛生活動はどうあるべきかを考える機会も増えました。会員の皆様から実践に役立つ論文の投稿をお待ちしています。

(蔭山正子)

### 次号予告（第69巻・第12号）

#### 特別論文

年代別ひきこもりの課題、予防、対策  
.....ロザリン ヨン, 他

#### 原著

入院治療を終えた結核患者受入れに対して高齢者施設職員が抱く不安の関連要因

.....和田ありさ, 他  
子宮頸部細胞診とHPV検査における同一受診者での医師採取と自己採取との比較

.....澤 律子, 他

#### 資料

市区町村における母子保健情報の電子化および利活用の現状と課題.....堀内清華, 他  
地域住民における緊急事態宣言期間の診療科別医療機関受診控えと受診困難状況

.....小山史穂子, 他